

# 京都総評

京都総評

京都地方労働組合総評議会：発行

第 236 号

発行所  
京都市中京区壬生仙念町30-2 ラボール京都5階  
京都地方労働組合総評議会（京都総評）  
電話 075 (801) 2308 FAX 075 (812) 4149  
E-mail sohyo@labor.or.jp URL http://www.labor.or.jp/sohyo/  
〈発行責任者〉 梶川 憲 〈編集責任者〉 吉岡 勝

京都労働相談センター  
電話 0120-378-060 E-mail scent@labor.or.jp

11月2日(土)	11・2 憲法集会in京都 13:30 円山野外音楽堂
11月10日(日)	米軍基地はいらんちゃ! FESTA 13:20 丹後文化会館
11月23日(土・祝)	団結交流まつり 10:30 六孫王神社

## 主な日程

来年1月19日告示、2月2日投票で京都市長選挙が行われます。

10月16日にみやこめっせで行われた「こんな京都にしたいな」市民のつどい（実行委員会主催）は、切実な願い・要求を持ち寄って3200人が参加し、熱気あふれる集会となりました。

今度の京都市長選挙は、憲法を生かし、市民一人ひとりが大切にされる持続可能な地方・地域づくりを展望し、安倍政権や財界の路線に對峙し、もうひとつの道を地方からつくり出すたかいかいであり、市民の手に市政を取り戻すたかいかいです。

京都総評は、京都市長選挙に向けた「要求と提言」への取り組みをすすめて、近く発表する予定です。

「私たち自らが自治を考え、人権を大切に京都市政を取り戻そう」と訴えました。

「来春2月の京都市長選挙に力を合わせていく申し入れ」を国政野党に働きかけた報告、「もうひとつけない！京都と地域を守ろう」と世界文化遺産の仁和寺周辺での環境破壊、南禅寺・岡崎の景観がホテル建設で大きく損なわれる実態、植柳校跡地に防災上問題のある地下体育館を建てようとして

いる問題が、市民の会から報告され、住民無視の市政を明らかにしました。

要求交流では、京都市職員の嘱託職員の仲間が、「嘱託員クビ切りSTOP」のボードを掲げ、京都市が行おうとしている介護保険認定給付業務の集約・委託化、嘱託員1300人雇止め問題を告発しました。

フロアからの要求アピールで、医労連の若い仲間が、「安全・安心の医療と介護が受けられる京都市に。いのちを守る医療労働者として、憲法を守る市政にしたい」と思いを語りました。

さまざまなお願いと要求が



フロアからアピール

「要求と提言」を大いに議論し、「こんな京都にしたい」という願いや要求を大事にして、京都市長選挙をたたかっていきたいと思います。

「要求と提言」を大いに議論し、「こんな京都にしたい」という願いや要求を大事にして、京都市長選挙をたたかっていきたいと思います。

## 10・31いのちと暮らし、雇用と営業を守る秋の府市民総行動

### 憲法を生かす府政・市政を！

10月31日(木)	
早朝宣伝	8:00~8:30 府庁東門前 8:15~8:45 京都市役所前
京都市総行動	9:30~10:00 個人請願行動 10:00~11:30 代表による要請
京都市役所包囲デモ	12:30~13:00 河原町御池交差点出発
京都府総行動	13:30~14:00 個人請願行動 14:00~16:00 代表による要請

# 2020京都市長選挙 こんな京都にしたいな 市民のつどい

## 市政への怒りと要求・願い持ち寄り

切実な願い・要求が盛りだくさん

市民のつどいの冒頭、開会あいさつを行った市民環境の対応などに触れながら、

京都市長選挙をたたかうこと、京都市長選挙に向けた「京都総評の要求と提言」への取り組みをすすめています。

また、「住民要求に背を向ける京都市政」として、今の市政は切実な市民要求に背を向け、福祉や子育て

「要求と提言」を大いに議論し、「こんな京都にしたい」という願いや要求を大事にして、京都市長選挙をたたかっていきたいと思います。

「要求と提言」を大いに議論し、「こんな京都にしたい」という願いや要求を大事にして、京都市長選挙をたたかっていきたいと思います。

「要求と提言」を大いに議論し、「こんな京都にしたい」という願いや要求を大事にして、京都市長選挙をたたかっていきたいと思います。

「要求と提言」を大いに議論し、「こんな京都にしたい」という願いや要求を大事にして、京都市長選挙をたたかっていきたいと思います。



参加者で埋まったみやこめっせ

「私たち自らが自治を考え、人権を大切に京都市政を取り戻そう」と訴えました。

「来春2月の京都市長選挙に力を合わせていく申し入れ」を国政野党に働きかけた報告、「もうひとつけない！京都と地域を守ろう」と世界文化遺産の仁和寺周辺での環境破壊、南禅寺・岡崎の景観がホテル建設で大きく損なわれる実態、植柳校跡地に防災上問題のある地下体育館を建てようとして



「クビ切りは許せない！」と訴える京都市の嘱託職員

## すべての労働者の賃上げめざし 官民一体の取り組みを

最賃改定を知らせる

最賃引き上げを周知

京都府最低賃金が改定され、10月1日から時間額909円になりました。

10月1日に府内16か所79人が参加して、「あなたの給料は909円をクリアしていますか？」困ったときには労働相談センターへ」とリーフを配布し、最低賃金改定を知らせる宣伝行動を行いました。

京都総評は「8時間働けばふつうに暮らせる賃金」を求め、「最低賃金1500円以上に、今すぐ1000円に」と運動をひろげてきました。今年最高の引き上げ額となっていますが、時間額909円では、到底「ふつうに暮らす」はできません。京都総評が行った最低生計費試算では、京都市内の一人暮らしの若者がふつうに暮らすた

めには、「月額24万円以上、時間額にして1600円以上必要だ」ということが明らかになっています。

「最低賃金を1500円以上に」「今すぐ1000円に」の世論と運動をいっそう広げていくことが必要です。

秋は官民一体となって、公務員賃金改善、職場要求実現、年末一時金闘争をたたかいます。すべての労働者の賃上げと働きやすい職場をめざして、職場地域で粘り強くたたかきましょう。

京都総評は、11月8日(金)午後6時45分からラポール京都ホールで、「11・8秋年末闘争勝利！決起集会」を行います。要求とたたかいてを流し、要求実現への意思統一を行う場です。単産・地域から積極的な参加を呼びかけます。

TUBUYAKI

「記憶にございませぬ！」俳優の中井貴一演じる記憶を失った首相が、主人公の政治風刺のコミディー映画。作品は、「史上最悪のダメ総理」金と権力に目が無い悪徳政治家と呼ばれる首相が、街頭演説中に投げられた石に当たり、記憶喪失になり、「善良な政治家になって悪政を正していく」というストーリー▼安倍首相は、その映画の試写会後の懇談で、三谷監督に感想を聞かれ、「全く別世界のお話なので楽しめました」「悪い総理の時代に消費税を上げるのは、ちょっと現実とこがすったかなと思いましたが」と厚顔無恥な反応▼海外では、政治や社会を正面から扱った作品は無数に存在し、アメリカでは国のトップを描く作品が作られてきました。

「要求と提言」を大いに議論し、「こんな京都にしたい」という願いや要求を大事にして、京都市長選挙をたたかっていきたいと思います。

「要求と提言」を大いに議論し、「こんな京都にしたい」という願いや要求を大事にして、京都市長選挙をたたかっていきたいと思います。

機関紙協会京滋地本は、10月6日から8日に福島共同取材を行いました。京都総評から吉岡副議長、合同繊維・佐々木委員長が参加しました。

福島では、帰宅困難区域が残る富岡町から郡山市に避難し、復興住宅に住む深谷さん、中島さん、大橋さん、川崎さん、滝沢さん、佐藤さんの6人の高齢の女性から避難生活の不安や原発への思いなど、お話を伺いました。また、果樹農家、商工業者の聞き取り、飯館村、浪江町、富岡町などの現状を視察しました。

避難住民の一人、深谷敏子さんが話された内容を紹介します。

### あの日の様子

私は、原発から7キロ圏内に住んでいました。自宅が美容院をしていました。その店は小さかったけど、私の老後の、夢と希望が詰まっていた。80歳まで働こうと頑張っていました。

日は、お客さんのパーマをかけていました。あまりの揺れの大きさに驚き、お客さんと手を取り合って外に出ました。家の前の瓦が飛び、網戸が飛び、石油タンクが倒れ、地割れがして、

3月11日のままです。人も動物も植物も、すべてが原発事故の被害者なのです。原発の怖さをすべての人に伝えたい。原発事故が起きたことも、私のように避難したことも、絶対にあってはならないのです。

## 避難生活の不安と実態、原発はいらないの強い思いを語る避難住民の声

機関紙協会 福島共同取材より

住宅で独りの時、どうしようもなく孤独感に襲われたときに「あの日の私を返してください。毎日笑って暮らしていた、あの頃の私を返してください。生きがいをもって、充実していた、あの頃の私を返してください。原発の安全性を疑うこともなく、のんびりと暮らしていた、あの頃の私を返してください。でも、今は、生活が一変しました。なぜ？なぜ？こんなはずではなかったのに。原発です。もう元には戻れません。3月11日以前には戻れないのです。目に見えない放射能があるからです。こんな悲しいことがあるでしょう。原発が憎い。すべてを奪った原発が憎いです。あの日の私を返してください。」



フェンスの向うは立ち入れない



避難の苦しみを語る住民 (左が深谷さん)

身、着のまま逃げた。どの道路も車の渋滞で、異様な光景でした。人も動物も植物もすべてが原発事故の被害者です。私の家は帰宅困難区域内です。一時帰宅で帰ると、田んぼも畑も、黒いフレコ

避難することによって人生が狂い、根無し草のような生活を、未だに立ち直れない人がどれほどいるのか、はかり知れません。私もその一人です。40年かかって築き上げたすべてのものを、原発事故のために失いました。みなさんに言いたい。これから先、原発のことを聞かれたら、声を大にしてほしい。絶対に原発はいらない」と。

### あの日の私を返して

私たち避難者には、安住の地はないのかもしれない。避難することの苦しみ、家に帰れないことの不



経験を語りあう参加者

## 総がかりで仲間増やしの大運動を

行動推進に向けた組織拡大交流会議

「総がかり行動を計画している全印総連、郵政ユニオン、全厚生を取り組みを推進し、総がかりで仲間増やしをすすめよう」と組織拡大交流会議を10月7日に開催し、経験と取り組みを交流しました。

府職労連の2つのチャレンジを学習  
冒頭、京都府職労連の新しい委員長の木守さんから、2つのチャレンジとして、①共済活動を基礎にして総対話を広げる活動 ②コミュニティオーガナイズング

意見交換では、「職場に足を運んで励まし、元気が出る取り組みをしたい」「宣伝は拡大とつながり、大きな取り組みが欲しいが、地道に活動をしていきたい」「早朝宣伝が一方通行になっており、その方法や

ワークショップでの経験が報告され、相手の話を聞くことに力を入れた「組織の拡大にはその強化が必要」と話をしてもらいました。

取り組みを広げて仲間増やしと意見交換  
意見交換では、「職場に足を運んで励まし、元気が出る取り組みをしたい」「宣伝は拡大とつながり、大きな取り組みが欲しいが、地道に活動をしていきたい」「早朝宣伝が一方通行になっており、その方法や

「聞くという点では、労働相談の日を設け、対話ができるようになった」「非正規のネットワークがあり、核になる人が加入することで広がりを生んでいる。さらに広げたい」「職場には悩みがいろいろある。共通する課題もある。仲間との対話が大事」等々、取り組みを広げたい、広げなければならぬ思いが次々出されました。交流を促し、活かせる経験を今後共有する場を設けることを確認しました。

出るのが遅くなるのはなぜ？「実施している他都市での状況は？」利用者、事業所にはどのような影響が出るのか？など質問があり、関心を示していました。

会員後、京都市にアンケート結果を届け、「集約・委託化の計画は撤回すべきだ」と強く申し入れました。

## 介護保険業務の集約・委託化、嘱託職員130人雇止め問題で記者会見

社保協・保険医協会がアンケート結果をもとに

集約・委託化に賛成は3・6%だけ  
京都社会保険推進協議会、京都府保険医療協会、介護事業所と介護認定審査に携わる医師へのアンケート結果の記者会見を10月2日に行いました。

事業所アンケートでは、167件の回答のうち、集約・委託化に対して「反対」が70・1%が「反対」で

「賛成は6件(3・6%)。集約委託を知っている」が121件(72・5%)、46件(27・5%)が「知らない」と回答。その理由は、「認定結果と回答。窓口受付、審査会

業務、認定業務について60%近い事業所が、給付業務については40%近い事業所が「影響が出る」と回答。その理由は、「認定結果

計画は撤回すべきと申入れ  
新聞記者から、「結果が

## わたしのBlack Box

京都府職労連執行委員長 木守 保之

「村度」という言葉が世の中に悪い意味で広まったのが、モリ・カケ問題だった。時を同じくして、著者が元TBSワシントン支局長で、安倍晋三首相の「犬」と言われた山口敬之氏にレイプされた事件を、逮捕直前に中村格刑事部長(当時)が「村度」してもみ消した、ドラマのような現実



まで、あらゆる手を尽くして妨害するなど、異常なまでの権力の横暴が浮かび上がる。もはや、この国では権力とそれを取り巻く者の犯罪は、治外法権と宣言されているのに等しい。

モリ・カケ問題では、財務省職員が「改ざんを

強要された」と遺書を残し自殺されたが、著者は、検察審査会で不起訴相当とされた今もたたかっている。改めて「異常事態の日本を変えなければ」との思いを強くした。

「村度」の本来の意味、思いやりが生かされる国を取り戻すために。

書名・Black Box  
出版社・文藝春秋社  
著者・伊藤詩織  
定価・1400円+税



京都市に申入書を手渡す